

平成25年度 地区別計画推進懇談会の報告について

開催日時 平成26年1月30日（木）午後2時から3時30分まで
開催場所 瀬谷区役所5階大会議室
参加者数 81名（地域57名、CP5名、区役所・区社協19名）
内 容 「調査で読み解く瀬谷区の地域福祉～地区を知る～」
講師 (株)地域環境計画 代表取締役 田中 孝司 氏
講義内容 平成25年度 瀬谷区・暮らしや地域に関する意識調査
(平成25年度瀬谷区地域福祉保健計画次期計画策定に向けた調査)
の結果について報告
配付資料 ①調査結果報告書 ②基礎調査報告書

アンケート結果 回答者数54名

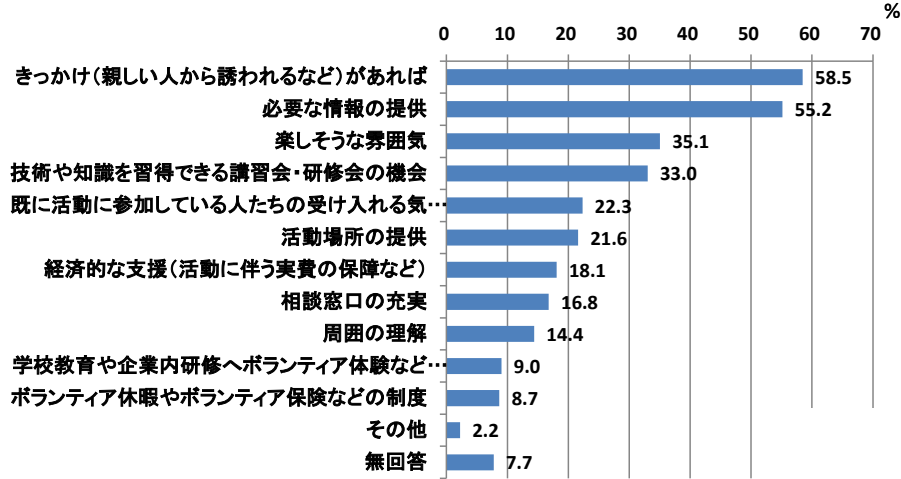
- (1) 「瀬谷区・暮らしや地域に関する意識調査」結果について、理解できましたか？
理解できた(42) 少し理解できた(10) あまり理解できなかった(0)
理解できなかった(0)
- (2) 懇談会の内容は、今度の活動に役立てる事が出来ますか？
とても役立てることができる(25) 少し役立てることができる(25)
あまり役立てることができない(0) 役立てることができない(0) どちらともいえない
(0)
- (3) 本日の懇談会の感想、今後の懇談会についての希望、現在の活動で感じていることなど
- ・地域の方と共有して今後の活動につなげたい。
 - ・現状の取り組みに勇気が出た。
 - ・一番大切なことはあいさつだと思う。それから、はじまりです。
 - ・あいさつ運動が的を得ているとことがわかりうれしかった。今後もがんばっていきたい。
 - ・普段の活動の中で、戦略的思考で進めていく必要があると思った。
 - ・現在、まちづくり活動に参加しているが、今日のアンケート結果の分析の話を聞いて今後の地域活動をスムーズに推進していくためのヒントを頂いた。特に次期担い手の発掘の可能性を知った。
 - ・子育て中の親を自治会等の担い手となって頂けるには、どう接していく事が大切な事かなと思っている。
 - ・近所付き合いの活性化が必要である。そのためには小単位での取組が必要。

意識調査の主な結果

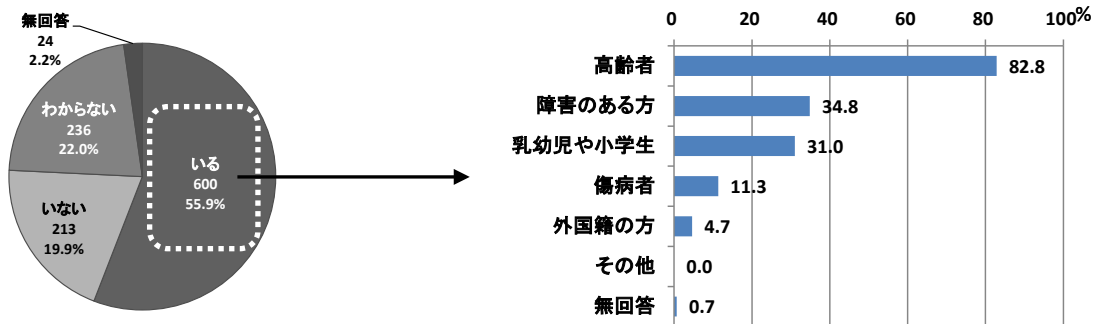
■調査概要

調査対象 区内に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人、無作為抽出
 調査期間 2013 年 9 月 2 日～9 月 30 日
 回収数 1,108 件 (回収率 36.9%)

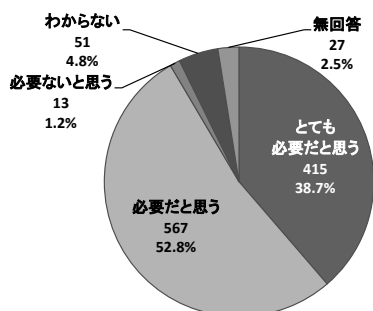
■地域で行っている福祉や保健の活動に担い手として参加するために必要なこと



■ご家族や近隣に、災害時に避難等の支援が必要と思われる方の有無とその内訳



■災害時に地域で助け合いがうまくいくために、日頃から地域の中で顔の見える関係づくりに取り組むことが必要か



■地域で「顔の見える関係」を築くために必要なこと

